

高層ビルはどうやって支えるの？

丈夫で長持ちする鉄筋やコンクリートでしっかり支えているよ。

地震など災害が多い日本で超高層のビルやマンションを可能にする秘密の一つは、鉄筋コンクリートにあるんだ。物を引っ張る力や曲げる力に強い鉄筋と、押し潰す力に強いコンクリート。この2つで地震の大きな揺れにも負けず、建物をしっかり守ってくれるよ。

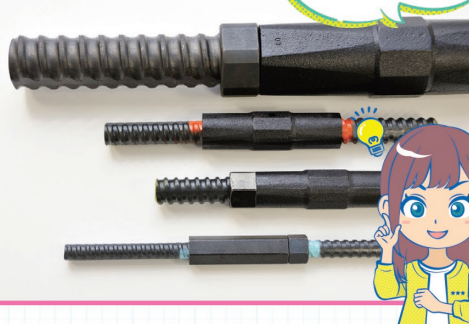
東京鉄鋼 株式会社



鉄をつくる、つなげる、いかす

“建物の骨”とも言える鉄筋の開発や製造をしている東京鉄鋼。主力となる製品の「ネジテツコン」をはじめ、生み出した鉄筋は、高層ビルやマンションの芯となり、街の目印となる建物を支えています。また、使い終わった車や家電などから鉄を再利用するなど、“つくる”だけでなく、“つなげる”“いかす”環境リサイクルにも貢献しています。

首都圏の建物の多くに製品が使われているよ！



製鋼

鉄くずを電気炉で溶かし、成分調整を行って、ビレットと呼ばれる鋼の塊をつくります。



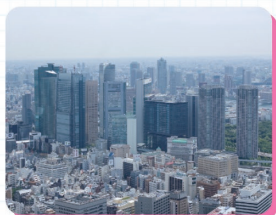
圧延

ビレットを再び熱してローラーで延ばし、長い棒状の形に仕上げます。



保全

工場にある機械や設備が壊れないように点検したり、壊れた時は手早く修理します。



「ネジテツコン」は表面がネジ状の鉄筋で、専用の継手を使って簡単につなぐことができます！



はたらく人に聞いてみた！



INTERVIEW

鉄スクラップを電気炉で溶かす仕事をしています。1600℃を超える高温の電気炉で鉄が溶けているか確認したり、質の高い鉄をつくるため成分を調整しています。建物の重要な素材をつくっているのでやりがいも大きいです。

製鋼課

鈴木 孔人 さん



INTERVIEW

製鋼課でつくられたビレットを再加熱して、ローラーで延ばし、丸くて長いネジテツコンなどをつくっています。有名な建物に当社の鉄筋が使われていることや、日々さまざまな問題が起き、それを解決していくことに面白さを感じます。

圧延課

稲葉 真克 さん



ネジテツコンができるまで

1.スクラップ配合



鉄くずをスクラップ業者などを通じて集めて、つくりたい製品の種類に合わせて配合していきます。

2.熔解



鉄スクラップを電気炉に入れて、高温で溶かし、決まった成分に調整します。

3.鑄造



高温で溶けた鉄を鑄造機に流して固め、ビレットという鋼の塊をつくります。

4.圧延



ビレットを加熱し、ロールで細く延ばして製品の形に仕上げます。

5.品質検査



専用の機械を使って、鉄筋を引っ張る、曲げるなどの検査をして、品質をチェックします。

6.出荷



検査が終わった鉄筋を大型トレーラーに積み込み出荷します。

ここにも注目！！



小山市内にある本社工場は、なんと東京ドーム2個分の敷地！



品質を守るため、最新の試験機を使って検査しています。

もっとちょうさする！



〒 栃木県小山市横倉新田520 ☎ 0285-27-4411
 会社ができた年:1939年 👤 人数:685名 🌐 <https://www.tokyotekko.co.jp/ja/>